



スカウト あいち

No.222

2015.10.20
発行部数 15,800部

第23回世界スカウトジャンボリー開催!!



Be Prepared!! ~スカウトOBからのメッセージ~ Vol.6

愛知連盟は創立から66年を迎え、多くのボーイスカウト経験者が社会の第一線でご活躍をされています。
今回のスカウトOBは、芳野純治様をご紹介します。



藤田保健衛生大学 内科教授 芳野 純治様

小学5年生の時に、学校に団員の募集があり、それに応募して名古屋第12団に入れていただきました。ボーイスカウトの時には、名古屋市の御器所辺りから瀬戸市の森林公園まで、自転車にリュックサックやテントを積んでキャンプに出掛けたり、夜間ハイクをしたのを覚えています。その後、シニアスカウト、ローバースカウトと社会人になる前までの間、スカウト活動にしっかりと参加しました。ジャンボリーには御殿場、日本原、朝霧高原の3大会に参加しております。当時の第12団を振り返ってみると、若いスカウト達に団の運営を任せていただき、思うように活動ができたことは、現在では楽しい思い出となっています。医師になってからは時間が取れなくなり、スカウト活動を離れました。

ボーイスカウトでの出来事は多数ありますが、最も感謝しているこ

とは沢山の友人ができたことです。活動を離れた後も、一緒に隊や班の活動をした先輩や仲間から何年おきかに連絡があり、最近の活動を聞いたり、昔話をしました。現在もまだ連絡があります。また、スカウト活動を通じて団体生活やそこでの規律・礼儀、危機管理など社会人として仕事をしていく上でのマナーや必要な事項を学んだような気がします。

医療の世界に入り、患者さんのことを考えたり、研究などを無我夢中で行ってききましたが、スカウト活動を離れてからすでに40年が経ちました。昔を懐かしく思い返しています。皆さんも楽しいスカウト生活を送って下さい。



1962年8月 当時の筆者

●発行/日本ボーイスカウト愛知連盟 事務局：〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号 愛知県東大手庁舎6階
TEL：052-972-6281 FAX：052-972-6283 ホームページ：http://www.scout.aichi.jp E-mail：office@scout-aichi.or.jp
●編集/スカウトあいち編集チーム ●印刷/名鉄局印刷(株) 印刷部数 15,800部

愛知スカウト人口(平成27年9月20日現在) 190団 860隊 スカウト 6,887名 指導者など 5,353名 合計 12,240名



スカウトあいち **ホットニュース**

THE WORLD SCOUT JAPANESE HONDAI 2015 JAPAN



第23回世界スカウトジャンボリー 44年の時を経て再び日本に

第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)は、2015年7月28日(火)から8月8日(土)まで、山口県山口市阿知須・きらら浜にて、世界155の国と地域から3万3,742人(9月11日現在)が参加し、盛大に行われました。その中で、愛知連盟は国内最大の派遣隊15隊・607名、さらにISTなど248名の奉仕者を送り込みました。スカウト通信員を務めた福田さんは、「カメラへの惜しみない笑顔は、万国共通でした!」と、語ってくれました。以下は、参加スカウトらから集められた大会スナップです。



スカウト通信員 福田成美さん 道を歩いていた誘われて肩を組んだ それだけでもう仲間です



0606隊 出発前には大村秀章愛知県知事を表敬訪問しました



0605隊 アリーナショー 皆でかざした無数の“WA”



0608隊 「広島ピースプログラム」地域の人たちと折った思いのこもった千羽鶴を届けました



0617隊 フランス隊・アイルランド隊とのランチ交流



0612隊 開会式に向かう途中でイタリアのスカウトと交流 すぐになかよく!



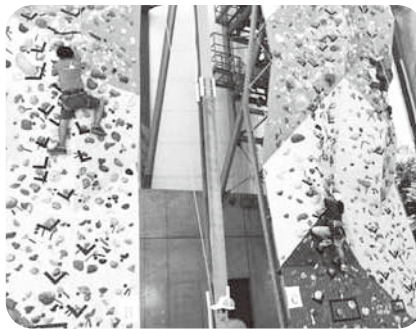
0613隊 熱が入ります ワッペン交換



0605隊 よさこいソーランに参加 見事優勝!



0611隊 げんこう班 谷 和馬 「地球開発村」で地雷除去体験



0618隊 場外プログラム ボルダリング

我が家での国際交流 23WSJ ホームステイ

愛知連盟には、23WSJ開催前にイギリスより3ヶ隊、開催後にイギリス1ヶ隊・ドイツ1ヶ隊・韓国1ヶ隊、各隊36名のスカウトと4名の指導者が、各地区にホームステイに訪れ、各家庭へ2名ずつ2泊3日の国際交流をしました。

豊田地区 みよし第2団 ボーイ隊 水谷 文哉

イギリス・ダービシャーの男子スカウト2人をホームステイで受け入れました。まず2人とも大きくてびっくり!2日目に足助屋敷へ。始めは緊張で全然しゃべれなかったけど遊びを通して英語で話せるようになりました。目を見て伝えようとするボディアランゲージで何とか乗り切れるものです。



三河葵地区 岡崎第3団 ボーイ隊 恐神 わかば

イギリス・バーミンガムの女子スカウトと過ごしました。言葉の壁が大変と思っていましたが食生活の方が大変で、慣れてないのか暑さなのか食欲が少なく、一番よく食べたのは親子丼でChicken & egg bowlと云ったら喜んで食べました。マリオブラザーズは世界共通で一緒にゲームし、浴衣で祭りに行きました。が暑そうでした。



穂の国地区 豊橋第1団 ボーイ隊 西田 美由紀

世界ジャンボリーに参加したドイツ・ヴォルフスブルグのスカウト(女子2名)のホストファミリーをしました。8月8日・9日の短期間でしたが、他のホストファミリーと共に、流しそうめんや盆踊りを楽しみ、翌日は地区主催で日本の伝統文化に触れるなど、彼女たちの胸に楽しい思い出として残ってくれば嬉しいです。



尾張西地区 一宮第4団 ボーイ隊 加藤 瑞希

韓国・ソウルの女子スカウト2名は僕の姉を含め、ピアノ経験者だったので、ピアノセッションをして過ごしました。ワッペンやチーフリングを交換したり、いろんな話をしていたら、あっという間に時間が過ぎていました。



隼スカウト章受章19名 おめでとう! (平成27年6月16日～平成27年8月31日)

地区名	団名	氏名
名古屋巽地区	名古屋第47団	中井 友子
	名古屋第97団	堀江 愛満
名古屋西部地区	名古屋第121団	土屋 奈央
		平井 良
尾張南地区	大治第1団	伊藤 健太

地区名	団名	氏名
尾張東地区	犬山第7団	一柳 明里
	江南第1団	納堂 聖也
	瀬戸第1団	岡田 葵 中村和佳奈
尾張西地区	稲沢第10団	伊藤 一貴
知多東地区	阿久比第1団	岩井 篤志
知多西南地区	常滑第8団	杉江倫太郎
		古川 千夏

地区名	団名	氏名
碧海地区	碧南第2団	榊原 志竜
		清澤 健真
三河葵地区	岡崎第3団	加藤 実梨 田代真友香
	西尾第2団	犬塚 偉大
穂の国地区	豊川第4団	大芝 舞子

菊スカウト章受章65名 おめでとう! (平成27年6月16日～平成27年8月31日)

地区名	団名	氏名
名古屋巽地区	名古屋第12団	田島功一郎 丹羽 晟也
	名古屋第62団	石川 晃輔
尾張南地区	蟹江第1団	若山 翔雪
尾張東地区	犬山第7団	奥村 透暉 前川 千秋 前田 唯花
		内藤 春奈 栗原日向子
		江南第1団
	瀬戸第1団	肥田野 遼 松原 尚也
	日進第2団	荒木 良季
	小牧第1団	青木 聖弥
	春日井第4団	渡辺 泰成
	春日井第10団	小林 健斗
		平野 隼人

地区名	団名	氏名
尾張西地区	一宮第4団	石井 葵
	一宮第10団	藤野 竜哉 牧 慶祐
		一宮第13団
	稲沢第9団	大森 康平 西川 和希
稲沢第10団		曾我 祐吾 寺島 礼示 齊藤 晴 山田 樹 家田 航汰
	知多東地区	半田第3団

地区名	団名	氏名
知多北部地区	東海第2団	小島 健裕 竹内 大翔 市瀬 雅弥
	東浦第2団	長坂 一輝
碧海地区	安城第2団	山下 将輝
	安城第3団	山浦 梨瑚 佐々木瑞央
三河葵地区	岡崎第8団	鳥山 皓平
	岡崎第11団	鈴木真理恵
	西尾第5団	福垣 竣也
	西尾第11団	足立 幸大
西尾第12団	山本 貴也	
	豊川第1団	横田 淳至
穂の国地区	豊川第7団	井上 楓太 堀内由紀乃
	豊橋第12団	安田 真彬 牧野 りか

地区名	団名	氏名
豊田地区	豊田第5団	小野 豪之 改森 翔太
	豊田第16団	霧 竜輝 菊池 陸矢
豊田地区	豊田第24団	倉地 奎多 大栗 穂華 河合 駿平
		豊田第34団
豊田地区	豊田第39団	岡田 祥暉 岡田 朝陽 岡田 和也
	みよし第1団	原田 知岳 福丸 雄大



ニュース & トピックス

〈知多〉

ボーイスカウト活動体験会

知多東地区 阿久比第1団 団委員 都築 正文

阿久比第1団では、恒例となりましたボーイスカウト活動体験会を5月24日に阿久比第1団のスカウトハウスで行いました。飯ごう炊飯では各グループでかまどを作りマッチで火をつけることから体験してもらいました。炊き込みご飯の具材もさんまのかば焼き、やきとりの缶詰、コーンペーコンなどにチャレンジしてもらい、最後は保護者とともに全員で試食会を行いました。楽しく野外料理を体験できた1日でした。



浜辺でアート

知多西南地区 常滑第8団 カブ隊長 野澤 拓矢

5月24日に常滑市りんくう海浜緑地で「サンドアート」を行いました。スカウト達は各組に分かれ、海の生物というテーマを元に砂浜の砂を海水で固め立体感のある作品を協力して一生懸命に作り上げてくれました。天候にも恵まれスカウト達も、のびのびと楽しい集会を行うことができました。



夏だ!キャンプだ

知多北部地区 大府第2団 カブ副長 堀尾 智香子



7月18~20日、カブ隊は恵那市明智町で2泊3日の夏季舎営を行いました。明智の森でのハイキング、旧三宅家での貴重なお話、そのほか川遊び、キャンプファイヤー、きもだめしと、活動を通じて仲間との絆を深めていきました。

特に、連日練習したファイヤースタントは大成功のうちに本番を終え、スカウトも達成感や充実感を得た貴重な体験となりました。また、期間中、保護者の手厚いサポートも何より力になりました。スカウト減少、存続の危機を乗り越えて現在カブ13名で元気に活動中です。今後も自ら行動できるスカウトを育て、地域に受け入れられる団になれるよう、尽力したいと思います。



デンリーダー講習会

知多西南地区 副コミッショナー 衣川 達也



7月26日、デンリーダー講習会を常滑市南陵公民館で開催しました。参加者は、デンリーダーを始め隊長副長、保護者と幅広く13名が参加しました。多くの方に参加してほしい思いもあり、午前半日という短時間としました。屋外メインで、組・隊集会の流れを確認しました。暑い中の講習会でしたが、参加者の皆さんは熱心に受講していました。

ローバー合同夏季アクティビティ

知多東地区 副コミッショナー(ローバー担当) 福谷 裕

7月11日~12日、広徳寺周辺の海岸において、尾張東地区・名古屋北斗地区・知多西南地区のローバーで合同夏季アクティビティが開催されました。以下は運営委員長の言葉です。

2日間通して参加したローバーが約40名でした。知多東地区の成人指導者の協力のおかげもあり普段あまりやることのできないジェットスキーなどの活動ができました。今回の活動でローバー活動の1つの良い例を見せることができたと思います。これをきっかけにさらに地区ローバー活動が活発になることを願っています。

(運営委員長 春日井第4団 ローバー隊 水野宏紀)





ニュース & トピックス

〈三河〉

日本一を体験!

碧海地区 知立第1団 ボーイ副長 行武 淳一

「日本一高い富士山に登りたい!」スカウトの驚く希望により始まった富士登山プロジェクト。辛く厳しい3回の訓練登山を経て、8月21日、スカウト18人、大人7人の合計25人で富士登山を決行!「岩場が大変!」「酸素足りない!」「暗くて寒い!」と、正直楽しいばかりではありませんでした。しかし頑張りの甲斐あり、2日目には綺麗な御来光を拝み、その後無事に登頂!!



日本一の高さから絶景をバッチリいただきました! 高山病で泣く泣く登頂できなかったスカウトもいましたが、スカウト全員が大人も驚く程の「ガッツ」を見せてくれました。超立派!



夏休み最後の思い出づくり! びっくり流しそうめん

豊田地区 豊田第40団 団委員長 浅井 昭和



夏休みは組織拡大のチャンス!ということで、豊田市藤岡地区でスカウト人口を増やすべく、恒例の夏休みイベントとして今年は「流しそうめん」を企画しました。早朝はあいにくの荒天でしたが準備とともに晴れ間が見え、そうめん流しコースを保護者も手伝いながら組み上げました。そうめんの他にこんにゃく、野菜、果物、ソーセージ、お菓子なども流れてきて、お箸を持って待ち構える子供達も大興奮。一般参加の親子を含め約30名で大賑わいのイベントとなりました。



地区ビーバー・カブラリー開催!

穂の国地区 組織・拡充委員長 水藤 隆詳

去る6月7日、田原市「権現の森」にて、穂の国地区ビーバー・カブラリーを開催しました。穂の国地区指導者・スカウト324名と事前申し込みを含む一般参加者80名の参加で大変盛り上がりしました。

ラリーは、各団が趣向を凝らした11のポイントを競い合いながら楽しく回り、スカウトも一般児童も一緒になってゲームに集中していました。

一般参加の保護者・児童がボーイスカウト活動に興味を持ち、仲間が増えることを願っています。



犬山でラフティング

三河葵地区 岡崎第5団 ボーイ隊長 藤江 敏

8月13~15日に犬山野外活動センターでボーイ隊夏期野営を行いました。

班長の『川下りがしてみたい』の一言から始まった計画で、夏期野営の中日にショップインストラクターの方に教えて頂きながら、ラフティングにチャレンジしました。

初めにライフジャケットやヘルメットなど安全に関する説明、その後は川に入ってから浮力の確認で準備完了。ボートに乗ると班長の掛け声に合わせて漕いで、荒波をクリアして行きました。





ニュース & トピックス

〈尾張〉

ベンチャープロジェクト～目指すは江ノ島!!

尾張南地区 弥富第1団 ベンチャー副長 山田 耕多

7月18日～20日にベンチャープロジェクトとして、弥富から江ノ島まで約340キロを、二泊三日の移動キャンプを実施しました。初日は約130キロで静岡県磐田市まで走行し、二日目は約130キロで静岡県三島市まで走行しました。三日目に箱根峠を越え、目的地の江ノ島まで約80キロを走破しました。本プロジェクトの目的の「体力・精神力の限界に挑戦し、限界値を引き伸ばすこと」は達成出来ました。参加スカウト全員が最優先でチームのことを考え行動し、自己犠牲を厭わない姿を見て、一人一人の飛躍的な成長に感動させられました。



「地区合同くま集会」を行いました

尾張東地区 春日井第4団 カブ隊長 伊藤 克敏

6月7日(日)にスカウト・指導者総勢86名が集まり、地区内16の有志団による、くまスカウトを対象とした合同くま集会を犬山野外活動センターで開催しました。

各隊指導者間による事前の打ち合わせを重ね、当日は各隊

混成組を編成したスカウトが、国旗儀礼やなわ結びなど6つの基本訓練ポイントを回りました。

隊の枠を超えた交流がスカウトだけでなく指導者間でも行えたのが大きな成果でした。



韓国スカウトとの交流会

尾張西地区 一宮第4団 カブ隊長 加藤 寛



8月12日(水)に韓国友好団のスカウト12名と指導者2名が、世界スカウトジャンボリーの帰路にホームステイを兼ねて、一宮第4団を訪ねてくれました。

当日は、団本部近くの北神明公園と西小島公民館にて、アイスクリーム作り、ピザ作り、流しそうめんなどを行い、交流会を開催しました。



今回の交流会は、ローバー隊、ベンチャー隊、ボーイ隊が中心となって、韓国友好団のスカウト・指導者を「おもてなし」しようと張り切ってくれました。

ビーバー隊やカブ隊のスカウトも、保護者の協力を得ながら、そのお手伝いをしつつ、久しぶりの大人数の野外料理を楽しんでいました。

なかでも流しそうめんが好評で、日韓両スカウト・指導者、保護者、団関係者も舌つづみを打ち、満足そうでした。

海外のスカウトと一緒に食事することはなかなか経験できませんが、世界ジャンボリーが日本で開催されたおかげで、貴重な経験ができました。





ニュース & トピックス

〈名古屋〉

自然は身近にあふれてる!!

名古屋北斗地区 名古屋第42団 組織・拡充委員 本間 裕史

～矢田川あそび2015に参加して～

7月26日の名古屋は35℃を超える真夏日。毎年恒例の矢田川あそび。42団では朝からマーキーを二張り設営し奉仕。スカウト達はイベント参加。ガサガサ調査で水辺の生き物見つけ、水質調査では昨年と比較し、ペットボトルのいかに乗って、少しだけの川下り。暑さを忘れ、全身ずぶ濡れになり、今も昔も子供たちの笑顔は一緒。自然は、川辺は、好奇心を満たしてくれる。想像力をかきたててくれる。自然に感謝。年々綺麗になる矢田川に感謝。



チャレンジ章 完修!

名古屋西部地区 名古屋第126団 カブスカウト隊 加藤 慶也

ぼくが、カブ隊に上進した時に、先輩スカウトがチャレンジ章を完修した表彰式を見て、すごくカッコいい、ぼくもあんなふうになりたいと強く思いました。でも、どうすればなれるのかな? チャレンジ章を取るといっても何から取り組めばよいか分からない状態でした。

とにかくチャレンジブックの課題を組集会有る日にならず提出しようと決めました。40個取ることは、とても大変だと思ったけれどひとつひとつ課題をクリアしてワッペンが増えけると、うれしかったです。大変だったのは風向計がうまく作れず何回も作り直しながら風向きを一月調べたことです。



チャレンジ章をやってよかったことは、動物愛護でグッピーを観察したことです。グッピーの赤ちゃんが産まれたときはやったーという気持ちでいっぱいでした。赤ちゃんを育てるのも楽しいです。最後まであきらめずに、がんばってよかったと思います。

手作りアスレチック!

名古屋巽地区 名古屋第1団 カブ副長 保田 真弓

8/12～15に、岐阜県恵那市にある飯地高原自然テント村で長期キャンプを行いました。

今年の目玉は何と言っても、手作り縄ハシゴを使ってのアスレチック!初体験のスカウトが多かったにも関わらず、とても立派なアスレチックが完成しました。

スカウト活動の基本は野外活動です。野外活動を滞りなく、かつ快適に過ごすために様々な技能を習得していきます。今回はローパー隊長の指導のもと、てこ結びを使って縄ハシゴを作りました。初めてのてこ結びに戸惑い気味のスカウト達でしたが、さすがにくまスカウトはいち早く取得し、後輩スカウトへの指導へ回っていました。



組ごとに縄ハシゴが完成した後、団委員のみなさんが作ってくれたアスレチックへ設置。そこでは大きな歓声が上がりました。縄ハシゴが壊れたらスカウト達が



すぐその場でまた結び直すなど、しっかりとてこ結びを身に付けることができましたようです。

カブスカウト年代にとっては、つまらないと思われがちなロープワークも「何のために練習するのか」が理解できれば、スカウトのやる気も引き出せ、また忘れないのではないかと感じました。

縄ハシゴを使って登ったアスレチックの上で食べたアイスは、最高に美味しかったです。

